婦人と新社會

山田わか主筆

二月號

毎月一回一日發行　第四拾二號　大正十一年二月一日發行

大正九年二月二十三日第三種郵便物認可
大正十一年一月二十三日印刷納本

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□山田わか著

□四六特三百五十頁　定價金貳圓□
□總クロース美本　送料金拾五錢□

再版　戀愛の社會的意義

目次大要

富を造る事と幸福を造る事――戀愛と結婚――戀愛に對する男子の態度――菊榮氏の『女も進んで求婚すべし』に附て――結婚道德の一ッ――墮胎に附て――戀愛の自由と本能――女子敎育の基調――産業機關は臺所のため――戀愛と藝術――家庭を追はれた産業婦人――婦人運動の歸着點――メレデスの靈肉觀――母と社會政革――婦人の智的生活――禽獸の親子關係【其他十七問題】

東京市四谷區南伊賀町四十一番地
發賣所　婦人と新社會社
振替東京五三六八八

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大隈老侯を悼む

一國は必ず大指導者によつて成立し、そして、其の指導者の人格如何によつて强國になります。グラドストンやビスマークやカブールは確に國民的指導者でありました。現代の英國と云へば直ちにグラドストンを思ひ起します。獨逸帝國と云へば直ぐにビスマークを聯想します。又、伊太利の統一と云へばカブールを追想せずには居られません。

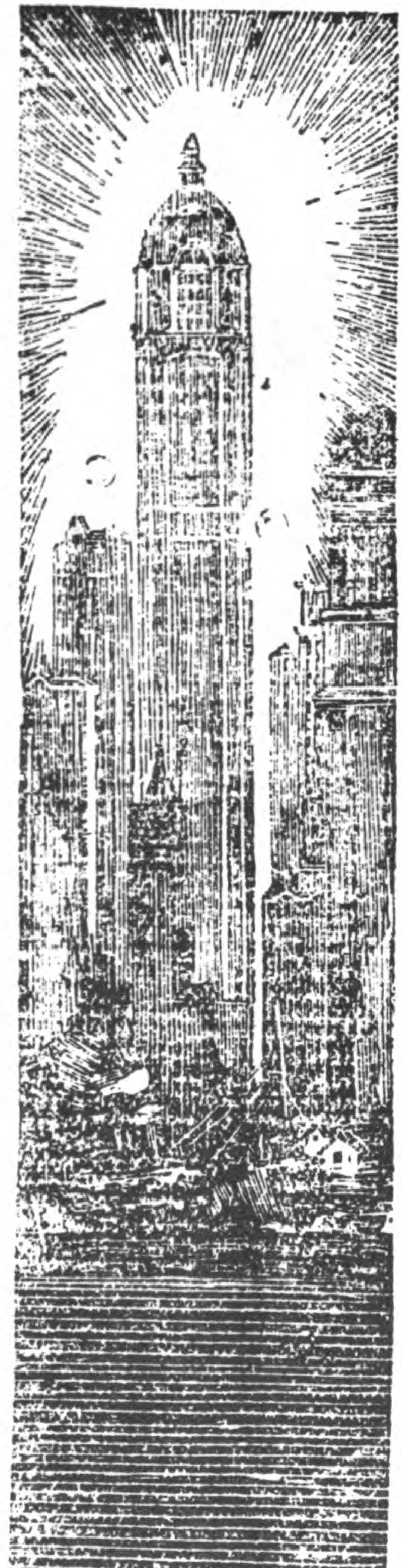
此の意味に於て、大隈侯は我が日本の國民的指導者でありました。一體指導者としての價値には二種あります。一時の危急に奉公する人と、未來のために働く人と。そして、前者の價値よりも後者の價値の方がより大なるものであります。グラドストンに付て云ふならば彼は政治家としては失敗でありました。彼の理想は殆んど何にも實現されませんでした。けれども、彼が英國々民並びに他の世界國民に深く印象を與へた政治的正義は實に偉大であります。此の點に付て、彼に匹敵するものは先づ見出されないと云つてもいゝでせう。

大隈侯は、私の考へでは政治家としては或ひは失敗であつたかも知れません。現實的な政治家は、國民から要求されて仕事をするに反して、理想的の政治家は國民よりもズーッと進んだ仕事をしようとしますから、大抵の場合、其の仕事は失敗に終ります。

大隈侯があの大風呂敷の外に政治的方面に如何なる偉大な印象を殘されたかは私は本當には知りません。けれども、私は、老侯を廣い意味の教育家として成功した人だと思ひます。大隈老侯と云つた時に、常に、私共の心頭に浮んで來るものは政治家としての侯と云ふよりも、むしろ、早稲田大學の創立者として擁護者としての侯です。老侯の人格が如何なる性質のものであつたにしろ、兆れは早稲田大學を通して永久に殘るものであろうと思ひます。

一個人としての老侯は國民が懷かしみ慕ふ大きな伯父樣でありました。國威の光りを常に増大させてゐたあの大樹が、卒然、此の地上から消へると云ふことは淋しとも亦淋しい極みであります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN



社會生活と責任

一切の問題が責任觀と其の責任觀に導かれた努力で解決出來ると思ひます。なぜなら、責任は眞實であり、眞實は直截であり、そして、努力は實力ですから。けれども現代人に最も缺乏して居るものは此の責任觀念と努力です。とは云つても、それは、以前の人間よりも現代人に責任觀念と努力が少なくなつたと云ふよりは、むしろ、社會が進歩するに從つて生活の樣式が複雜になり、其れに比例して責任が擴大する、故に、從來持つてゐた責任觀念と努力だけでは足りなくなつた、と云ふ方が適當であるかも知れません。

今後の誌上に於ては此の責任觀は如何にして創造さるゝかと云ふこと、此の責任觀と努力の泉源た

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

明らかにすることに主もに勤めたいと思ひます。そうすることが、今、目の前に横はつてゐる問題を解決する自然の順序であると信じますから。

以上は私の今年の年賀狀のうちの一節で御座います。で、其の計畫の手始めと致しまして、社會生活と云ふことに付て少しく考へて見たいと思ひます。

生物と無生物との著しい相違の點は、生物は不斷に己れを新らたにすることによつて己れを維持するに反して、無生物にはさう云ふ働きがありません。岩石は打ち叩かれゝば抵抗します。そして、其の抵抗力が叩く力よりも強いならば、岩の外形には何等の變化がありません。けれども、もし、叩く力の方が強いならば、岩は砕けてしまいます。岩は、己れを叩かうとする力に對抗して己れを守らうとする企てをしません。ましてや、其の力を自分の利益のために利用しようなどゝは決してしません。これに反して、生物は、自分の力のあらん限りは、自分を攻撃しようとして、自分に近かづいて來る力を自分の利益のために利用しようと試みます。勿論、自分の力よりは遙か

に優れた力に攻撃されるならば、破壞されて、生物としてのかたちを失ひますけれども、其の攻撃に耐へ得る限りは、其れに對抗するのみならず、其の力を自分の利益のために利用しようとします。

光線、空氣、濕氣、又は、土の成分を生物は自分に取り入れます。自己保存の手段に其れ等のものを生物は利用します。環境を利用するために費した生物の精力は、其の努力によつて獲得したもので、補はれて猶餘まりがあります。其の故に成長がありります。

此の意味に於て、制裁と云ふ言葉を考へて見るならば、生物は自分自身の生活を繼續するために、其の時々に利用しなければ消滅してしまう周圍の精力を征服し、それを制裁します。つまり、環境を利用するための活動は不斷に己れを新らたにする方法です。ですから、生命の繼續とは、其の生命の必要に絕へず環境を調節することを意味します。此處に云つた生命と云ふ言葉は、下級生物に於て許りでなく、個人的及び

種族的の經驗の全體をも含めて用ひられる言葉です。
假りに、私共が今『何の何某の一生(ライフ)』と云ふ書物を見た時に、其の人の『一生(ライフ)』とは書いてあつても、其の中に其の人の人體生理が書いてあるとは思ひません。私共は其の人の傳記の中には社會的の先行條件を豫想します。たとへば、其の人の幼年時代の環境、則ち、其の人の家庭の狀態、職業、其の人の人格の發達中に於ける重もなる出來事、其の奮鬪、功績、又は、其の人の趣味、希望、喜び、苦しみ等を豫想します。
其れと同じように私共は、野蠻時代の生活、古代人の生活、現代人の生活と云ふことと等を考へます。つまり人の一生、則ち、人の生活とか、國民の生活とか云ふことは習慣、制度、信仰、勝利、失敗、反動、職業等を意味するものであることを知りますそして、經驗と云ふことに、常に己れを新らたにすることによりて生命を維持し、經續する生理學上の原則をあてはめます。つまり、生理上の生存の更新と共に、人間の場合に於ては、信仰、理想、希望、幸福、不幸、及び行爲の更新が行はれます。則ち、

社會を新らしくすると云ふことは經驗の繼續と云ふことであるのは文字通りに事實です。最も廣い意味に於ける教育は社會生活を繼續させる手段です。社會を構成してゐる各人は、たとへ、最高度の文明を持つた都會に生るゝとも、生れた時は、野蠻時代に生れた人と同じく、意氣地なく、言葉なく、信仰なく、思想なく、社會的標準も知らない未熟な人間であるのです。教育によつて、過去の人の經驗を授けられ、文明人、即ち社會的人間になるのです。故に、各人は社會生活の經驗の運搬者であるのです。各人はやがて死にます。けれども、社會生活は進んで行きます。

　して見ると、社會は、生物學上の生命と全く同じように、傳承の方法によつて存在するものです。そして、此の傳承は、老人から若い者に、若い者から子供に、考へたり感じたり行つたりする習慣を傳へることです。ですから、もし、其の理想、希望、豫想、標準と云ふものが社會生活から、及び、死んでなくなる各個人から傳へられると云ふことがなくなつてしまうならば、社會生活と云ふものは止んでしまいます。

社會は傳承によつて則ち交通によつて存在し、繼續するのみならず、其の傳承則ち交通の中に存在すると云つてよいのです。つまり、傳承と交通其れ自身が社會であると殆んど云つてよいのです。社會と云ふ言葉と交通と云ふ言葉との間には有機的な關係があるのです。

各人に共通な處があればこそ、各人は社會に生活が出來ます。ですから、交通は共通にものを所有するようになる手段です。其處で、社會を完全にするために各人が共通に持たねばならぬものが、各人の目的であり、信仰であり、抱負であり、智識であるのです。社會學者の言葉で云ふならば、共通の理解、同じ心持ちと云ふことです。けれども、さう云ふ目的、信仰と云ふようなものは、無形なものですから、人から人へ手渡しすると云ふようなことは出來ません。又は、食物を分けるように、分け與へることも出來ません。其の共通な理解を可能ならしむるには、交通によつて同じような情緒及び智力を創造しなければならないのです。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

人々が接近して生活して居るからと云つて、其れが直ちに社會になつてゐると云ふことは出來ません。同じ屋根の下に住んで居る人々よりも、數千里離れて生活して居る人々の間により親密な社會が書物や手紙によつて造られてゐる場合があります。

又、或る一ッの目的のために働いてゐるから、其の人々の間には社會が成立してゐると云ふことも出來ません。なぜなら、機械の部分々々は共通な目的を持つて最大限度の共働をして居ます。けれども、其の機會の部分々々から一ッの社會が成立してゐるとは云へません。もし、機械の部分々々が其の共通の目的を意識してゐて、其の仕事に興味を持ち、各々の特種の活動を其の共通の目的に鑑みて規定することが出來るならば、其の機械の部分々々も社會を構成してゐると云へます。併し、さうするには機械の部分々々の間に、所謂情緒及び智力的の交通が無ければなりません。各々の部分が、他の部分は何をしてゐるかを知らなければならず、又、其の目的や進步に關して、他の部分と絕へざる交通が必要です。つまり、本當の社會に必要な一致には交通

が無ければならないのです。

私共は、最も社會的の團體の中にですらも、非社會的な多くの要素を見ます。如何なる社會團體のうちにでも、人と人との關係に機械的である處が澤山あります。云ひかへれば、唯、並んで生きてゐるので、社會的自覺がないのです。個人々々は、情緒的及び智力的に他の個人に印象を與へるでもなく、受けるでもなく、唯、自己の利益のためにお互ひを利用し合つてゐます。そして、腕力の强い者、優秀な位置を占めてゐる者、熟練又は機械的の能力を持つてゐる者、及び、道具の所有者等が其の勢力を最も多く揮つてゐます。親子、師弟、雇主と被雇人、治者と被治者との關係がさう云ふ平面にある間は、彼等が如何に接近して活動してゐようとも、其處には本當の意味の社會は成立してゐないのです。命令をしたり、されたりすることが人々の行爲や其の結果を變更するかも知れません。けれども、それだけでは、目的に對する責任を各々が負ふとか、興味の共通とか云ふものはないのです。

社會生活とは交通と同じものであるのみならず、凡ての交通、從つて、凡ての社會生活は皆敎育的であります。廣く交通を受ければ受けたゞけ、其れだけ自分が大きくなり、自分に變化があつたのです。他人が考へたり感じたりしたことが自分のものになりますから。他人に交通を發するものも、亦、それによつて自分が成長します。なぜなら、自分の經驗を他人に傳へるには、其の經驗に自信がなければなりませんから、經驗に對する自分の態度が變つて來ます。そして、又、其れを他人に傳へようとすれば、其の經驗を組織しなければなりません。そして、さうすることは自分が其の經驗に超越することです。つまり、自分自身の經驗を他人が見るような態度で見ます。そして、其の經驗の如何なる點が他人の生活と如何に接觸して、それがどう云ふ意味となつて他人に傳つて行くかを正確に見ます。

實に、凡ての交通は藝術のやうなものです。何處迄も社會的である社會の整頓法は其れに加はる人のためには何時も敎育的であります。けれども、もし、其の整頓法が

形式に流れるならば、其の時には最早教育的の性質を失ふ。つまり、社會的の性質を失ふことになるのです。ですから、社會生活は、社會其れ自身を永久的となすために教へると云ふことと學ぶと云ふことが其の生命である計りでなく、共働して生活すべき其の方法が既でに教育であるのです。其れが、人の經驗に光りを與へ、其の經驗を大きくします。そして、人の想像力を刺戟し、豊富にします。其處から社會生活に對する責任觀が生れます。

全く一人で生活してゐる人、つまり、他人の存在を無視して生活して居る人は、自分の經驗を考へて見たり、其の經驗の意義を明らかにして見たりする機會がありません。則ち、責任觀念を生み出す餘地を持たないのです。

けれども、成熟した人と、未熟な人との間に當然起る不同な功績が必然、若い者の教へられねばならぬ必要を認めさせます。そして、此の教へると云ふことの必要が人の經驗を精選し、組織し、最も容易に凡ての人に利用出來るように、從つて、有益に

なるように工夫されます。

此の、人の經驗を精選し組織することが若い人のためには、無量の刺戟となります。なぜなら、人の經驗を解剖することは、自ら責任觀念のよつて起る處を明らかにしますから。

アインスタインと教育

アインスタインは言ふ。

今日の教育の材料は余まりに抽象に過ぎる。たとへば、幾何學に於ては、大きさや角度の概念を生徒に教へるに、文字と線を用ひてゐるが、これでは生徒が了解しないのも無理はない。さうする代りに、生徒に一本の棒を持たせて教室の外へ出して見るがよい。外には影を投げる建物があるだらう。又、彼の持つてゐる棒も影を造るだらう。そして、其等の影は建物と棒の大きさと太陽の位置に關係がある。其處に單純な幾何學上の材料が澤山あるではないか。さうして、實驗によつて奬勵されるならば、普通の子供ならば直ちに興味を感じて、よく覺へる。と。

物理學に關して、彼は、又言ふ。

最初の課目は實驗出來て、見て興味あるものに限る。凡て、初期の教育は直接五官に訴へるものでなければならない。此の理由から、活動寫眞の大なる教育的價値を認める。人間が旅することの代りに、活動寫眞によれば地理が動く。又、花の成長や、昆蟲の羽の動かし方の如きはフイルムの動し方如何によつて說明出る來。と。

アインスタインは强制的に實驗を要求してゐる。そして、彼が實驗に重きを置く理由は有形な土臺の上に倫理的教育を載せようとしてゐるのでる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



婦人から政治家への要求

（一）

今日の場合私共が政治家諸士に要求しなければならない第一のものは、建設的な思想と、所謂破壞のための破壞的思想との間の區別をはつきり見て頂きたいことです。『健全なる人生觀が現代政治の不安を一掃する』と云ふことは本誌（大正十年二月號）に論じて置きましたが、其の後の社會の狀態は私の其の考へが誤つてゐないと云ふことを確めること許りです。

今日の社會を動かしてゐる思想を解剖して見ると其の最も著しい色彩は革命的思想

です。哲學に文學に宗敎に藝術に此の革命的思想が現れて居ますが、殊に產業及び政治の方面には一層此の色彩が濃厚です。此の革命的思想は機會さへあれば何處へでも浸潤して行きます。たとへば、勞働者の組合が出來ようとすれば直ぐ其處へ這入りこんで行くし、社會主義者が集まれば直ぐ其處へ其の思想は喰ひ込んで行きます。眞純な社會主義は決して危險なものではないのですが、併し其れに革命的思想が附着した時に、非常な危險性を帶びて來るのです。なぜなら此の革命思想は進步の階段となるべき既成の文明及び人生觀を根本から破壞して社會秩序を亂し、進步的則ち健全なる社會過程を中絕させますから。一體、現今の思想の動搖、生活の不安は歐洲大戰爭に歸因すると云ふのが一般の考へでありますがそして其れは一部の眞理つまり其れが近因であるには相違ないのですが、併し其の眞原因は過去百四五十年の間に釀造された所謂破壞のための革命的思想です。

政治は日に月に複雜になつて來ました。過去の政治は主に國防、外交、秩序維持、

及び其れに要する費用の問題を取り扱ふものでしたが、今日に於ては政治の範圍が非常に廣くなりました。それに付て私は今政治季節にある政治家諸士に一言註文をしたいと思ふのですが、其の前に今日の政治問題及び産業問題を最も多く苦しめてゐる前進の革命的思想の起りを極簡單に云つて見たいと思ひます。

其れは、もと陰謀則ち復讐の念から始まつてゐます。基督教の文明を根本から破壊し基督教徒を撲滅しようとする猶太人の復讐から始まつてゐます。第一には十六世紀の中頃西班牙に、第二には一六八四年頃佛蘭西に、第三には十八世紀の後半に於て白耳義に現はれ、そして、其の次には一七七六年頃、獨逸に起つて、これが最も大きな勢力を得て、革命思想の種を廣く傳播しました。どうして獨逸では其のように勢力を得たかと云ひますと、非常な敏腕家が指導の任に當つたからです。其れはワイズハウプトと云ふ教會法の教授で頭腦明晰な徳望のある人でした。けれども此の人は理論のための理論家で人間性に對する實際上の智識は皆無でありました。が、とにかく此の人

の指導の下に既成の文明破壞を目的とする秘密結社が成立しました。政府、私有財産遺產、愛國主義、宗教、結婚及び家庭を全然廢止することが其の結社の目的でありました。

そして、その陰謀の成功を期する大切な條件は秘密を守ることだと信じてゐました。ですから自分等は決して社會の表面に出ることをせず、正當な理由で現はれた運動を利用し、其の名により其の政策によつて密に自分等の目的を達しようとしました。勞働運動が起れば其の中にもぐり込み、社會主義が勃興すれば其の中に割り込んで行き政治上の問題が起れば其の渦中にとび込んで行つて惡化します。共產主義にもサンデカリズムにもマルキシズムにも國際主義にも其の要素は這入つて行きます。佛蘭西大革命も歐洲に於ける一八四八年及び一八七一年の革命も皆此の要素の活躍です。實に革命思想の前身は陰謀で、其の陰謀の目的は基督教文明の破壞であつたことは前にも申ましたが、それが其の範圍をだん〳〵擴げて行つて今は全世界に擴がり、勿論我が

日本へも這入つて來てゐます。そして如何なる種類の文明であれ既成のものは皆脅威されてゐます。そして、今日の民衆の不滿は此の危險な革命的思想を植付けるに、最も都合のよい畑になつてゐます。實に、既成の文明に對する最後のそして最大なる攻擊が今始まらうとしてゐます。

此の時に當つて凡ての人は殊に一國を經綸する政治家は其の思想を了解し、健全なる建設的な社會改革主義との區別を明かにして適當なる處置を取らないならば百年の悔ひを後に殘すことになります。此の復讐的破壞的の革命思想は全人類を犯さうとする黴菌のやうなものですから、社會の本體が健全であるならば敢て恐るゝに足らないのです。其處で今日の政治家の使命は社會の本體の健全則ち、生理上心理上國民の健全を計らなければならないのです。

（二）

社會の本體卽ち國民の生理上心理上の健全を計るには社會の消極的な要素則ち破壞

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

的革命思想に對する備へも必要ですし、其の外積極的ないろ〳〵の施設が必要ですが先づ第一には社會の單位則ち家庭を健全にするのが最大急務です。今日の文明進歩の發端が家庭の建設にあつたと云ふことは動かすことの出來ない事實です。又家庭生活と云ふものが勞働組織の最も重要なる要素です。つまり、家庭生活を滿足に營ませようとして今日の產業文明は進化した物です。處で、之は唯半面の完成でありました。もう一方の半面は今日迄全然見遁されてゐました、つまり家庭の神聖と云ふことが全然無視されてゐたのであります。家庭の神聖とは母性の尊重、嚴正な一夫一婦及び男女の平等と云ふことです。男女の作用は異つても其の位置は對等でなければならない、否、子供を保護すると云ふ義務は父よりも母に重いのですからして權利に關しては男子よりも婦人に多いが正當です。

現代の政治家は健全な家庭の健設と云ふ處に基礎を置いて政策を定めなければなりません。一國の文明が高度に發達すればする程家庭尊重の意義が倫理上經濟上政治上

明かに現はれて居ます。處で、我國の大部分の政治家に此の點に關する理解が有りや無しや誠に心もとない限りであります。私は今の政治家の一人々々の家庭に對する、觀念及び家庭の神聖を保つ爲めの品行に付いて直接知る處がありません。けれども、婦人矯風會が毎年年中行事の一ッとして議會に提出してゐる刑法及び民法改正の請願即ち男女の道德律を一にしようとする企てが、議員諸士の手によつてどう云ふ風に取り扱はれてゐるかと云ふ處だけを見ても議員諸士の婦人及び家庭に對する考へがほゞ了解出來ます。

形式に於ては一夫一婦であつても實際には一夫多妻である奇怪なる蠻風を議員諸士が普通のことのように思惟して居るので、男女道德律を一にしようとする請願は年々歲々同じように顧みられずに居るのです。此の請願の提出者は單なる一婦人團體に過ぎないのですが、併し、其の希望は少くとも國民の半數である婦人、否、人類の半數である全世界の婦人の希望する處です。これが單に婦人自身の幸不幸にかゝはる問題

である許りでなく、國民の質の健全不健全にかゝはる問題であり國民の質の健全不健全は國家の興亡の分るゝ處だからです。

今や全世界の婦人は覺醒しつゝあります。『酒と女』と云つて婦人を男子の娛樂用の一ッに、又は男子の都合を計るための一個の道具となつてゐることを婦人は肯じなくなりました。今の政治家が其の趨勢を見ることが出來ないで、いつ迄も婦人を娛樂物道具、乃至は低能者扱にして居るならば此の社會上の黴菌、復讐的氣分に釀造された革命的思想が婦人を犯して行きます。そして、思はぬ災害を自他共に蒙らされることになるかも知れません。出口を失つた欝した氣が思はぬ處で爆發するのは理の當然であります から。

私が人間の活動範圍は男女によつて自ら區別のあることを認めてゐること、男子は外に女子は內に働くのが常道であることを認めてゐることは私の書いたものを一頁でも讀んで下さつた方は皆御承知です。ですから、政治は勿論男子の手に委ねて置くこ

とが原則として好都合であることを認めてゐます。但し、男子が正當な考へを持つて居て婦人の人格婦人の母性、家庭の神聖を認めて政治をとる場合に於てゞす。

農夫の職務は農業に從事することでありますが、併し、もし、其の天職を全うすることが出來ないような障碍が起るならば、農夫は先づ其の障碍を破壊するために田畑を捨てゝ田畑を耕すための鋤鍬を武器として出て行くでせう。其れと同じ意味で、男子がいつ迄も過去の弊風を持續して婦人の人格を無視してゐるならば、婦人は其の天職なる妻母の役を打ち捨てゝ男子の横暴に對抗しようとして家庭を捨てゝしまふでせう。そしてこれは自他のために非常な不利益です。

英國の婦人參政權運動に於ける武斷派のとつた過激な行動に恐らく賛成する人は無いでせう。妻が夫の頭をポカ〳〵毆るのに賛成する人はないように。毆り合ひの夫婦喧嘩は實にみつともないものです。けれども、さう云ふ夫婦喧嘩は普通の心理狀態で出來るものではありません。多くの場合妻の方はヒステリーになつて居ます。そして

其のヒステリーは夫の我がまゝな行動及び無理解が原因になつてます。

（三）

歐洲諸國民が血を流して獲得した憲法を我が國では乾いた地に靜かに落ちる驟雨のやうに極めて平和に歡呼の聲のうちに國民の手に歸せしめたのでありますが、女權問題に付ても、餘り多くの犧牲を拂はないうちに人騷がせをせずに、男子政治家の覺醒と理解の下に平和な解決を私は望みます。

私は、所謂婦人參政權論者ではありません、けれども、其れは、婦人は政治に無關係であると云ふ意味からではありません。なぜならどうして婦人が今日の政治の圈外に立つことが出來ますか？　空氣がある處の外に私共は出られないと同じように婦人は政治の圈外に立つことは出來ません。

一體、政治とは何ですか？　國民の必要を滿たすため、國民の幸福を增進するために工夫された機關に過ぎないでせう。國民の必要國民の幸福とは何ですか？　毎日の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

生活を圓滑に進歩的に營むことでありませう。ですから、私共が使用する水、私共が食する食物、私共が住む家、私共が子供を育てる狀態、私共の子供が敎育される方法これ等が皆政治問題となるのです。どうして、其れ等の事柄が婦人とは無關係であると云へるでせう。

一般の男子はそれ〴〵自分の受持ちの仕事に專門的に從事して居ればことが足りますす。けれども、一般の婦人は直接每日の實際生活を司つて居ます。そして、其の實際生活を圓滑に流動させるのが政治の使命です。そんならば、實は男子よりも婦人の方が直接に政治に深い關係があるのです。國民の實際生活と政治とは別なものであるように今日迄一般に考へられてゐたことが大きな問違ひで、それが政治家の腐敗のもととなりました。國民とは無關係な政界と云ふ一つの圈を造つて、其の圈内に於て、政治家は勢力爭ひをしたり黨派爭ひをしたりする、そして、國民は其れをまるで、芝居か相撲を見るような氣持ちで眺めてゐます。芝居をする者は外に俳優と云ふ專門家が

あります。相撲は別に力士と云ふ本職があります。苦しい思ひをして税を出して、議員諸士に年俸を拂つて、そして、芝居や相撲の眞似事をして見せて貰つてゐる國民は目出度しとも亦お目出度い限りです。

もし、其れを政治だと云ふならば、成程、婦人はそんな政治の圏内に足を入れる暇を持ちません。そでもないことに浮身をやつして居ても其の日其の日が送つて行ける男子とは違つて、實際に、國家の基礎なる家庭をとゝのへ、次代の國民を養成しなければならない婦人は實際生活とは無關係な芝居や相撲の眞似事の仲入りなどすることは出來ません。併し、政治の眞意義が正當に了解されるならば婦人が政治に關係があるの無いのと云ふことは餘りに馬鹿氣た問題であることが分ります。民意を安んずると云ふこと。つまり、國民があらゆる部門に別れて其れ〳〵の仕事に從事してゐる、其の部門と部門との間の連絡を圓滑にし、國民全體の生活を安易にするのが政治の任務ですから、私有財産が基礎であつた今日迄の文明に於て私有財産を保護したように

今後の政治家は勞働をも保護しなければならず、妻母の使命を婦人が安心して全ふし得るように婦人の人格を認め、母性を尊重し家庭の神聖を重んじなければなりません。男子がさう云ふ態度であるならば一般婦人はわざ／＼好んで不便を忍んで政界に乘り出すやうな愚をしようとはしないでせう。又、一政治家が政治の眞意義を了解し、全國民の利益向上のために一つの策を樹てたならば其の人の社會上の位置が何であれ黨籍が何處であれ、其の策に力を致すだけの雅量をもう政治家は持つてもいゝ時期です。

政治の最高の使命は社會道德の增進です。今日迄、人は、唯個人道德に就てのみ考へて居ました。勿論個人道德も無ければならない、否、絕對に、必要なものですが併し、其の個人道德を總合した社會道德が强固でないならば、今後日增しに世界各國との交渉が繁しくなる時世に、我が國はいつも世界列强の尻にくつついて居なければならないことになります。

此の秋に當つて、ひたすらに望まなければならないのは政治家の道德的覺醒です。併し、それを覺醒するに至る良心が我が國會議員にありや、無しや？

日に月に目醒めつゝある婦人及び勞働階級に對して許りでも今や國會議員は政治の眞意義を改めて了解し、怒濤のやうに押し寄せて來る思想の涙の善悪を明瞭に識別するだけの頭腦を用意して居ないならば、政治家としての其の位置を長く保つて居ることは出來ないでせう。自分達の接近する女達が昔のまゝの男に便利な道具であることに心を許して天下の女性が皆さうであると思つて居るならば日増しに膨脹しつゝある新しい思想の浪が彼の足をすくい倒し再び立つことが出來なくなるでせう。

前議會開會の際、貴族院に於て一議員が暴露されたような舊い頭を、政界のうちに再び見ないことを私は切に希望して居ります。



世界政府論

——アナトール・フランス——

一昔前頃、此の地球上の住民の幾人かゞ月世界に上陸して、そして、月世界の住民を治めて居る王樣に逢つた。常識を缺いては居ない月世界の王樣は其の旅人に向つて、地上の人々はどんな風に生活して居るか、又、政府はどんな形式のものかを尋ねた。旅人の一人は答へた。

『地球上はいくつかの獨立した國家に分たれてゐます。或る國は大きいし、或る國は小さいけれど、併し、凡ての國が熱心な愛國主義によつて保たれてあります。其の愛國心は地上に住む者の特長です。』

すると、王樣は『エッ！各國がお互ひから獨立してゐるとあなたは云ひましたね。そんなら、もし、國と國との間に爭ひが起つた時には、どんな判事が出て來て其

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の爭ひを裁きますか？』と聞いた。『そんな判事はありません。各國の名譽心がそんな者の存在を許しません。もし、一國が自國の權利を犯されたと考へるならば其の國民は直ぐに武裝して自國の權利を擁護し、或ひは、復讐をします。』と旅人が答へるや否や、王樣は恐れと驚きの目を見張り、そして、一言も云はずに『最も危險な種類の大馬鹿者』として、其の旅人等を皆牢獄へ投げ込んでしまつた。

と、スイフトの生れ變りとも云ふべきエッチ・ジー・ウエルスは云つてゐるが、實に今日の世界の此の組織の結果を豫想して見ることは容易である。現に、我々は其の結果を見てゐる。けれども、人は其れに付て心痛してゐない。此の地球上に於て、則ち、亞細亞、亞弗利加、歐羅巴に於ける昔の文明は戰爭に始まつて戰爭で終つてゐる。今日の文明も矢張り其れと同じ運命に到達すべきものである。それにも拘らず、全人類の其の滅亡を豫想しつゝ、人は其れを避けようともしてゐない。

此の度のあの恐しい歐洲大戰爭の後、成立した國際聯盟も、實際に平和を保證することは出來ない。又、しもしない。國際聯盟は其のために造られたのではない。國際聯盟は其の力もなし、財力もなし、獨立もない。それは、むしろ、戰爭の精神を維持するために成立したようなものだ。國際聯盟は、其の聯盟に加入した國家と同じように矢張り戰爭好きであ

る。平和のための國際聯盟は今は不可能である。なぜなら、今日の處では、戰爭と云ふことが國民の心、生活の形式、其の作用を決定してゐる。國民は、唯、戰爭を信じてゐる、彼等の望みは戰爭によつて定められる。平和のための國際聯盟は國民の聯盟ではないのである。

歐洲及び、亞細亞の烈國のいくつかを合衆國の大統領は召集して華府會議は開かれる。そして、軍備縮小は其の番組みの一ッであるが、併し、其れによつて世界の姿は變へられはしない。此の論文を書いて居る時には、まだ、其の會議は開かれてゐないが、併し、會議の結果を考へて見る必要はない。

各國は他國との意見の衝突を仲裁々判所にかけるのを厭ふだらう。歐洲文明は常に軍國的であつた。封建制度の國は其の權利を劍にのみ托してゐた。民主々義を設定した佛蘭西、及び、其の隣國は軍國主義の精神を著しく膨脹させた。其の軍國精神が宗教となつた。又、產業の進步が大砲を用ゆることの新しい云ひわけとなつた。世界の列强に於ける製造業者や商人は金儲けをするために戰爭をすゝめる。そして、戰爭が始まるならば、自分等の金儲けの機會を長くするために其の戰爭を長びかせる工夫をする。職工は賃金を上げて貰つて滿足してゐる。將軍は名譽と利益とを得て喜んでゐる。そして、兵士は母國のために戰ひつゝあると容易に信せさしめられてゐる。商人は自

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

分の利益のために出來るだけ平和を後れさせたことだけでは滿足しないで、平和が締結されるや否や、又の戰爭を起すために政治家と相談する。かくして、英國はメソポタミアを征服し、コンスタンテノープルを占領し、佛蘭西はシリアを占領し、其の代理となつて露國との戰爭を企てた。

　地球上の全體がかような馬鹿氣たことの生贄となつてゐる時に、誰が、仲裁々判所の可能を信じ得るだらう。

　實際、其れは、今は不可能だが、併し永久に不可能なのだらうか？　近時、全世界の思想や習慣に大變化を持ち來らすべき事柄が起つた。時としては國民に富を持ち來す戰爭は、又、時としては國民に滅亡を持ち來すものであると云ふことは歷史に其の例が澤山ある。そして、今我々は其の實例を目の前に突きつけられた。歐洲を荒廢させた長い戰爭、其の戰爭に續く平和、或ひは、其の戰爭の延長とも云ふべき平和は、歐洲の舊い文明を我々の無學や不眞面目が考へ與ふよりももつと深く攻擊した。で、我々は戰爭の禍の深味を考へ始めた。

　世界の大商人である英國は、其の工場を擴張すると同時に、不景氣、又は、失業の危機に付て苦慮しつゝある。獨逸は破產に瀕してゐる。佛蘭西も亦破產しそうになつてゐる。實に、佛蘭西は三二五十億の國債のためにヨロ〳〵してゐる。伊太利も苦しんでゐる露西亞は餓死しそ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

うになつてゐるし、墺地利は死んでしまつた。合衆國ですらも益々國情の亂れ行くのに驚いてゐる。

世界中の國民が、分けの分らない病氣のために、其の野心の夢から醒めようとしてゐる。恐しい敎訓は、まだ、正しくは了解されてゐないが、やがて了解される時が來るだらう。新聞紙の虛や、政治家のそら言は、今世界を通して叫ばれてゐる恐しい聲を覆ふてしまうことは出來ないだらう。歐洲は今死に瀕してゐる。戰爭が歐洲を殺したのだ。

人は最後には理解するだらう。そしてもし、滅亡することを厭ふならば、共同しなければならないことを知るだらう。そして、彼等の自負や慾ばり根性を捨て、平和の裁判所の判決に從ふだらう。

『婦人と新社會』

合本（第壹卷）

●自一號　至拾號

●定價　金二圓五拾錢

合本（第貳卷）

●自十一號　至廿二號

●總クロース金字入美本　●定價　金參圓

●送料　十五錢



社會問題を解決する鍵

新しい社會秩序を建設しやうとする色々のプログラムは一見皆別なものであるやうではあるが、詳細に調べて見ると其中に多くの共通點を見出す事が出來る。多くの改造論者が取扱はうとする問題の一つは少くとも無產階級の保護と發達及び產業の經營に對して彼等に幾分の發言權を有たせようとする事であるらしい。そしてそれは何かの規定或ひは何かの形式の所有權に依て經濟進步の上に國家の制裁權を延長する事の企である。其の手段の一つは課税に依て收入と世襲財產を制限する事であるから自然私有財產制度の幾分かの變更となり、かくして、所有權の今日の不平等を取り去らうとする事に於て大體に彼等は一致して居る。

進步は、今日迄個人の範圍とされて來た事柄を國民全體の制裁に延長するにありと云ふ事も輿論である。其處で今や國民が有識に建設しようとするものは共同的生活の形式である。之等のプログラムが造られつゝあると同時に國民の生活は

着々と其の方に向つて進みつゝある。今回の大戰爭に直接間接に加はつた國々に於ては勞資間の集合的契約及び政治上並びに經濟上の事柄の集合的經營が益々國民的になつて來て居る。國家及び產業は經濟力の一般動員と云ふ事に依て益々密着な關係を持つて來た。之れに加ふるに今回の戰爭より起つた現象で一種特別な現象の一つは各國に於て消費組合の會員の增加と、その活動の盛んになつたことである。これは何を意味するかと云ふと經濟的行爲の新しい發達の必要と資格を表して來たことである。計畫に於ても實驗に於ても、この新しい秩序は或る一定の原則を中心として造られたものである事は明かである。即ち人は到る處に今迄よりはより大なる平等と相互奉仕と云ふ一種の同胞主義の實現を求めてゐる。人は益々この社會機關を人間生活の最高な目的に向ふ有效な手段としやうとして居る。社會活動の目的として物資を獲得する事よりも人格の發達と云ふことがより大切なものである事及び人格の發達は人類の眞の共同を實現せんとする努力の中にのみ發見されるものである事が明かになりつゝある。

目下に於ては、之等の發達は、前に云ふた新しい社會秩序を中心として認める原則が歷史的の發達である事、そして、決して突然起つたものでない事、又偉大なる人物の想像の中に單に考へられたのみならず、社會必要の中にその根があつ

た事が一層明瞭となつて來た。

要するに之等の發達は今日迄人間が生活して來たそして進歩的に征服して來た環境則ち社會から人類の精神的可能性が歴史的に開發したのである。其の發達と増大は凡ての歴史中に進歩と云ふ流れがある事を明瞭に示して居る。勿論この進歩の流れはいつも眞直に流れては居ない時とすると一つの場所に止まつて、そしてその流れの潮流は却て方向を轉じて一時は逆に流れる事もある、けれども結局は其處に必ず進歩的流れがあるのである

今日に於て進歩の要素の一つは知識の種を一般に撒布する事である。この知識の種が智力の増加を持ち來たす來さぬに拘らずそれが有識な共通行爲の資格を増した事は疑ひない。其證據には人間の考察力と組織能力が現代に於て速かに擴がつて來て居る。其結果今日の特長は有識な社會制裁の増加である。人間は個人的にも集合的にも自分の運命の主人であり自分の魂の大將である事は眞理である。そして其の程度は知識を獲得するに比例するものである。人は物質界を先づ了解し然る後に征服する事を學んだように、人は又自分自身を了解し然る後に自分自身の性質、即ち自己の本能に打ち勝つ事を學びつゝある。斯くして人間は如何なる方向に向つて進むべきかを決定する。社會學者の調べた處によると、今迄は、人間は周圍の制限を受ける外は自己の本能に從つて生活して來たものである。然

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

るに今は全々反對に本能に從つたのでは進歩のない事を悟り始めた。人間が歴史を造る事に於ての大活躍は自然の力から脱したのみならず、自然の力を制服したのであつた。卽ち儀じいと云ふ事、苦しいと云ふ事、働くと云ふ事は同類を造るに必要であることを悟つた。併し乍ら道理が徐々と人間の習慣を批判して多くの習慣中の最善なものを理想とするやうになつた。共通の智力は敎育の普及と交通機關の延長に依て發達し其結果人間は未來の信仰を共通に決定する事が出來るやうになつた。で、この共通の智力が利己主義と云ふ微細な力に依て欺かれるか破られるか、或ひは道理がより大なるそしてより有効な利他主義を信仰させる程有力であるかどうかゞ問題である。然し人間は最も大事な時に最も賢い選擇をして來た。人間は一大事に遭遇した時には我れに自由を與へよ然らざれば死を與へよと叫んで來た。そして如何に多くの人間が其の爲に死するとも自由を助ける事が歴史の精神であつた。同樣な譯で今も又人間は自分一個の快樂と同胞主義とのいづれかを選擇せねばならなくなつて來たそして私は人間は賢い選擇をするに違ひないと思つて居る。其の結果如何なる爭鬪、如何なる苦しみ、如何なる犧牲があらうとも同胞主義が最後の勝利を得る事を疑はない。

各國民が彼等の新しい社會秩序の中心として徐々と選びつゝある原則と理想は

一種の合理的宗敎となる。卽ちそれは民本主義の宗敎であつて、公衆の利益と云ふ宗敎である。この宗敎は保護を要する信仰ではなく、相當の注意を拂ふならば必ず成長するものである。世界は過去五年間に於てこの原則を適用する事を了解するやうに速かに敎育された。如何なる無學な人間も今は社會と云ふ觀念の幾分かを了解するやうになつて來て居る。新しい生活の樣式を一般人が慾望する事は世界共通の產業主義の壓迫の下に發達したものである。文明が無政府主義則ち混亂に陷るにあらずんば世界の國民は同じ方向に進むで行く。

今日に於ては人類の共通の發達は各階級の人々を解放する事を含んで居る事は明瞭である。昔から普通の仕事をして來た人々は特權を有つて居なかつた。併し乍らこれ等の普通の仕事が無かつたなら今のこの大なる富は出來なかつたに相違ない。勞働階級の力の益々增大する事は最も明瞭な事實である。處でこの自覺して自分等に依賴する勞働階級が自分等の階級の自由と力を求めつゝあるか、或ひは一般人類の解放と、そしてその發達を求めつゝあるかは疑問であつて未だこの質問に答へたものはない。この勞働階級が果して社會の病を治すものであらうか又それを破壞するものであらうか、彼等は彼等の主領に依て欺かれて居るのではないであらうか。彼等自身の情熱に依て裏切られて居るではないであらうか私に

は分らない。けれども若し彼等が利己主義の道に過まつて導かれて行くならば進歩と云ふものはない、之れに反して若し彼等が彼等の必要と彼等の理想に本當に從ふ事が出來るならば本當の進歩の流れが社會に溢れるであらう。

　未來の希望は人間社會のどん底に働いて居る勞働階級の眞の自覺の中にある。若し今勢力を得つゝある勞働階級が世界に本當の新しい秩序を建設するとしたならば、而して今迄に存在した暴政よりは一層大なる暴政を設定せぬならば、そこにその保證がなくてはならない。その保證とは果して勞働階級の中に犧牲の精神があるかないかである。只利益を主とする社會組織はそれが經濟的であれ、政治的であれ善を造る事も出來ず、人類の必要とする奉仕をも爲さぬ事は今回の戰爭が明かに示して居る。そして自己利益主義は人類に無くてならぬ精神統一を發達させない事を平和が示して居る。何となれば現在の經濟組織は人間社會の精神上並びに實際上の必要に對して充分でない事は全く一般に認められて居る。と云つて、それが今日の經濟組織を破壞してよいと云ふ理由にはならない。勞働階級は自分等の解決と自分等の發達を確かにする爲には經濟組織を改革せねばならない事に氣が付いて居る。而して又斯樣な變化が各人の利益に必要である事は智力階級の中にも理解されて居る。然し乍ら今日の自由の要求の中には經濟組織の變更以上のものが含まれて居ることを忘れてはならない。若し新しい社會秩序が要求する自由と喜びが來るものならば、その前ぶれとして人は社會機關を主宰すると同時に自分自身を制裁せねばならぬ。過去に於ては人間の本能を制裁する有識な

努力は個々の手腕であつた。併し乍ら社會の新しい秩序の設定される前に前條件としてこの本能を社會的に制裁する必要がある。そしてこれは無上命令である。

然る時進步の目的は明かになる。然しそれを實現する手段はなんであるか私共はこゝに二つの選びがある。一つは完全なる組織と云ふ事、もう一つは完全なる單位と云ふ事である。而して不完全なる組織は完全なる單位に依て補はれ不完全なる單位は完全なる組織に依て補はれねばならぬ。で、我々の前に提出された進步の手段の選びは、して見ると進化を選ぶか革命を選ぶかである。私がこゝで云ふ革命は暴力を意味する革命ではない。が社會進步の方法に重きを置くよりは寧ろ改良其もの丶性質と範圍に重きを置く時にこれを私は革命と云ふ。

實際に於て經濟的及び精神的發達の關係は餘りに密着してゐて離す事は出來ない換言すれば眞の經濟上の發達なくして精神上の發達が有やう筈がない。又精神上の發達も經濟上の發達なくしては不可能である。もう一度云ひ直せば現代の要求する新しい社會秩序は犧牲の精神を動機とするにあらずんば不可能である。如何なる形式をこの新しい社會秩序が取らうとも、その生命は犧牲的精神である。その精神がないならば現代の要求する新しい社會秩序は破滅である。利己主義や無情な殘酷な唯物主義を倒すには社會の土臺となつて居る民衆の犧牲的精神に待つより外はない。して見ると今日民衆の要求する新しい社會秩序が現れるか現れぬかは民衆自らの犧牲の精神の存否に依る。換言すれば貧血症に陷つて居る民衆が人道に新しい犧牲の生血を注入する資格の有無に依るのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

新婦人と男性美

美術がどうの、音樂がどうのと云つた處が男にとつては女程美しいスイートなものはないように、女にとつても男程美しいスイートなものはない筈です。「女ならでは世の明けぬ國」と云ふ言葉が何處かにありましたが、男がなくても、矢張り、何處の國でも夜は明けないのです。

實に、女は男によつて美化され、意志の力を補はれ男は女によつて蠻性を制裁され、美化され、精選されるので、人間は進歩の階段を一ツづゝ〳〵登つて行くことが出來るのです。女は男の暴れ出そうとし、脱線しようとする性情を柔げ慰め、男は女の歩む道の嶮岨な處を平らかにしてやつたり、危險な場所は手を引いてやつたりするのです。女には男にない寶物がいつもありますから。

さうして、もちつもたれつ二人の生活を一ツにすることによつて、人の生活は完全になり、進歩することが出來るのです。ですから、男から見た女、又、女から見た男は、善いの惡いの、好きの嫌ひのと云ふ餘地はないのです。各々が各々の半身であるのです。

とは云つても、男にとつては女でさへあれば美しく見へスイートであると云ふわけではないと同じように女にとつても男でさへあれば美しくスイートであると云ふわけのものではありません。男にとつて、少しもスイートでない嫌やな女があるように女にとつても矢張り少しもスイートでない、頼母しくない、むしろ顏を見たゞけでも胸がムカ〳〵して來るような不快の化身であるような男があります。で、どんな男がさうかと申ますなら、一概には云へなくても、先づ、其の種

類の代表的なものは、貧乏な貧弱な男でも、亦、虎魚(おこぜ)のような凸凹した顔の醜男(ぶおとこ)でもなく、金肥りか、酒肥りか、デブ／＼して居て、重そうに金指環や金鎖などピカ／＼光らせて、酒臭い息をふいて不行儀な傍若無人な態度をしてゐる男です。もし、さう云ふ男が、親子程年の違ふ紅粉をコッテリほどこした若い妻を携帯してゐる場合には、腹立しい気持ちにさへなります。

今の多くの女は金のある男に選まれるために、男の歓心を買ふために、自分の美を発揮することを、日々の仕事のようにしてゐます。随分、變な髪のかたちや妙な着物の着かたや、派手な柄が流行したりしますがそれは大部分、女の趣味と云ふよりは、男の低級な趣味が女のさう云ふ恰好を奨励するのです。そして、其の美の標準は、精神的の要素が少しもなく、装飾の美つまり、物質上の美でありますから、金がかゝりますそして、無自覚な女は其の低級な慾望を満すために、金のある男から選まれるのを女の光栄であると思ひます。男は金で女を自由にするのが男の働きであるように考へます。そして、見たゞけでも胸がムカ／＼するような趣味な男と、胸倉をとつてひつぷつてやりたいような意氣地のない女が得意然として並んでゐると云ふ図がいくつも／＼現出されます。

一度は腕力の強いのが男らしいのでありました。今は最もに金力が男力であります。腕力乃至金力があれば、男は、それだけで人として不都合はないように考へてゐました。ですから、女に對しては日々の動作から、ものゝ云ひ方迄、非常にやかましくしながら、男に對しては全く放任してありました。其のために行儀に關しては今日猶大部分の男は野蛮人です。男の無作法、其の傍若無人の態度が時々問題になつて、婦人專用の電車を別に出さなければならないと云ふようなことが問題になるのは文明國の男子として恥づべきだと思ひます。

行儀は人の行為の技術であります。つまり、家を美しくするとか、装飾を藝術的にするとか云ふのと同じように人の行為を美化するのです。それが、同じ人である女に必要であつて、男に必要でないと云ふ道理が何處にありませう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大部分の若い女が、男の性格や品行を問ず、金のある者に選まれて得意然としてゐるに反して、極く、小數の智力の進んだ女や、又は花柳界の伊達者（だてしや）が、金のない所謂優男を（大抵は自分より弱年の）自分で選擇して自分の配偶とするのは、所謂男の腕力乃至金力に對する反抗心からだと思ひます。大部分の女が長い間の習慣と云ふ欲に自分の意志も感情も全く密閉されて居る時に、自分の感情の動くまゝに、自分の意志で男を選むと云ふことは痛快事に相違ありません。けれども、もと〳〵反抗心から始まつたことで、其處に道德的な根底が薄弱ですから、どうしても不健全と云ふ分子が伴ひがちです。

健全な進歩的な生活を營むには、前にも云つた通り男と女が合體して一つになり、そして、其の作用は別で、男には荒い仕事が適して居り、女には優しい仕事が適して居るのみならず、性の作用から云つても、女は早く熟し、そして、早く其の作用が終止するに反して、男は遲く熟し、そして永く其の作用が働くのですから、男は矢張り女よりも筋肉が逞しく年上であるのが常道です。ですから、女よりも年下の優男（やさをとこ）は夫として立派な者ではないのです。

何處の國でも一般婦人の夫選みの標準は間違つてゐます。其れを總括して見るなら、米國婦人の金力愛、獨逸婦人の武人愛、又、佛蘭西婦人はグニャ〳〵した男を愛すと云ふように。けれども、我が日本にも又世界至る處にも一部分の婦人があります。彼女達の愛の對照となる男子は、謙讓、公平（フエアープレー）、眞實、勤勉、秩序を重んずると云ふような德を具備してゐる人です。さう云ふ德を持つた男子を得るならば、彼女達は、彼の金力の程度や、身分や職業の如何は皆愛の中へ包んでしまつて問題にはしないでせう。日に月に目覺めた婦人の數が多くなつて、腕力や金力を振り廻す男が相手にされなくなる日が少しも早く到着することを私は望んで止みません。同時に、男子にも男らしさの標準を變へて頂くことを切に望みます。

婦人に對する最大侮辱



文字が現代人になくてならぬものであると同じように、自然の法則に關する智識も現代人にはなくてならぬものとなりました。

完全な幸福には、完全な健康が根本要素でありますが、其の健康を保つには、私共の心身を支配してゐる自然の法則に關する智識がなければならないのです。

無智が殆んど凡ての禍の源となつて居ります。或る程度迄の智識を蓄へて居れば、道德上の又は生理上の大抵の墮落は防げます。

今日迄、多くの婦人は、結婚生活の倫理的の意義に關しては全く夢中で、母の義務に關する何等の概念もなく結婚を斷行して來ました。そして、避けようとすれば避けられる病氣にひつかゝつて無駄な苦しみをして居るものが世の中には隨分少なくありません。

實に、性の問題に關しては、今日迄、普通の人の觸れてはならないものだとして、全く、無智の闇黑裡に閉ぢこめられて居ました。併し、性の問題は生命の問題です。それが、人の幸不幸を定める根本問題であると云ふことは、識者を待つて知る問題ではありません。抵抗することの出來ない性の能働力が人を善にも惡にも導き、世の中を樂園とも、地獄とも爲すと云ふことは誰でも知つて居る事實です。

けれども、人は、此の點に關しては全く無智の闇黑裡に閉ぢ込められて居たものです。そして、一方には其れを神秘なものだとして崇拜し、又、一方に於ては惡魔だとして恐れ戰いてゐました。

根強い其の力、否、人間の本質的の其の力を、決して、明るみへ出すまいとして人々が努力して居るうちに、其處に恐るべき黴菌が發生し蔓延して、其の禍患の烈しさに世界は今戰慄してゐます。そして、性に關する一切を覆ふてゐた神秘と云ふベールや、虚僞と云ふ被覆を引き裂き、取り除けようとする氣運が今世界に熟しつゝあります。性教育の必要と云ふことは一般人の確認する處となりました。殊に、女性獨特の生理上の作用に關する智識を少女に與へずに置くことは罪惡であるとさへ考へられるようになりました。

極端な例を擧げて見ますならば、月經と云ふことに付て少しも聞かされたことのない少女が、突然の出來事にびつくりして、何でも出血を止めなければならない、止めるには冷やさなければならないと思つて、盥に水を滿して腰部を冷やして居たと云ふことです。充分長く冷やして居れば止まるそうでありますが、併しそんな亂暴な行爲が健康を害さずには置かない、そして、一生涯、拭ふことの出來ない病氣を得ると云ふことは余まりに明白です。

昔は、女性の此の生理上の作用を恥づべきもの、つまり、女の罪障だとして教へられたのでありますが、婦人を侮辱するもの〻うちで、此の位ひ、大きな侮辱はないでせう。大自然の法則の一つの作用が、どうして恥であるでせう。罪障であるでせう。これは人生に於ける花、次代と云ふ實を結ぶ貴い準備であり、宇宙の萬物に共通な作用、美しい一つの狀景であるのです。ですから、新時代の母は、娘を無智の暗闇みに入れて置いたり、又は、在來の女性に對する偏見を娘の心に植へ付けて、娘の心を暗くするような愚を敢へてしてはならないのです。

純潔の結果の健康は、幸福の源であるばかりでなく能率の泉源です。ですから、少女達は性の意義を出來るだけ高尙に神聖なものだとして頭へ入れられて置かなければなりません。性の意義を低く、動物的なものだとして見、扱ふならば、人間が下等で動物的であるし、これを高尙な神聖なものだとして見るならば、人間が高尙で神聖であることを少女の信仰としなければなりません。そして、少女の心にさう云ふ信仰を造ら

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

せようとするならば、また、危機の迫まらないうちにつまり、また、さう云ふ事柄に關して彼女が虚心平氣で居るうちに、無責任な人の口や巷間に於て、發せられる言葉から變なかたちとなつて彼女の頭へ入る前に正確な智識を則ちやがて、彼女は生理的にも心理的にも變化があると云ふことを敎へられなければならないのです。

性に關する相當な智識と、一女性として、又、人類の一人として生くべき高き標準を與へられて居るならば、人生の一分岐點に立たされた時に、彼女は自分で自分の行くべき道を正確に選むことが出來ると思ひます。

自由結婚と見合結婚

従來は肉體だけ夫婦にして置けば精神的夫婦關係は徐々と、後から造られて行くように考へられて居ました。それが一つの信仰になつて居ました。ですから、昨日迄、全く見ず知らずであつた男女の二人が、唯、一場の儀式によつて夫婦になり得る、合體し得ると考へて居たのでありますけれども、それは餘まりに人間の精神を無視した亂暴極るものだと云ふことに、此の頃は誰でも氣が付いてゐます。

肉體的夫婦關係を造つて置いて、其處から精神的夫婦關係を生まうとするのは、全く、當ずつぽうであります。精神的夫婦關係、即ち、戀愛の種が二人の間にあるかないかも分らない先きに、其處から芽の出るのを期待するのですから、其處に齟齬の生ずるのは先づ當然と云はなければならないでせう。

其の當ずつぽうがたまには當つて健全な靈肉合體と云ふ夫婦が出來上がつた例も皆無と云ふわけではありませんが、と云つて、或る程度迄、精神的に目覺めてゐる現代人に其の冒險を强ゆることは不條理であり、彼等の耐へきれないことであります。

一口に現代人と云つても、其の內容は千差萬別であ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ります。女大學式に賢母良妻主義を奉じてゐる人もありますから、さう云ふ人にとつては、其の結果がどんな悲劇に終らうとも、所謂媒介結婚か、或ひは、一寸逢つたゞけで直ぐ極る一目結婚で何等の不都合も感じないで居られませうが、時代に相應した人達に對して從來の方法で結婚をすゝめることは其の人に對する大なる侮辱であります。

亞米利加で私は永い間仕立屋へ通つて働いて居りましたが、其の時、矢張り其處に働いてゐた娘は米國生れの伊太利人で十七歳でありました。或る時フト結婚の話が始まつた時に、其の娘は『私にはハズバンドがある』と申ました。また、仕立屋の給仕のやうな仕事をして居て其處に居る一同が子供扱にして居た其の娘の言葉に皆喫驚しました。そして『そんなにお若いのによく父母は承諾しましたね。』と問はれて其の娘は、『父母の承諾? ヘン、そんなものがいるものですか! 私は彼を好きました。けれど、云へば何んのかのと云はれるに極まつて居ますから、二人でコッソリ田舍へ行つて、そして、田舍の敎會で　緒にして貰つたんです。なつてしまへば、もう、親だつて何にも云ひはしません。それでいゝでせう。』と、實に、平氣なものでした。そして、其れを聞いた一同は彼女の其の結婚生活がいつ迄續くかと云ふ不安を感じた許りでした。自由結婚も此處に至つては、危險此の上もないと思ふのでした。

ですから、我が國の輸入的も不可なら、米國の全然の自由放任も亦不可と云ふことになります。其處で、要するに矢張り其の中庸をとつて行くより外仕方がないだらうと思ひます。二十四五歳から上になれば全然本人の自由に任せて置いて差支へありませんが、其れよりも若いうちは矢張り嚴重な監督が必要ですし、指導する必要もあります。

個人の自由と云ふことが稱へられて、他からの忠告を、個人の自由を干渉するものだと考へるのが此の頃の流行でありますが、併し、また、弱年のうちは自分で自分の歩む道が分らないものですから、人生の旅に經驗のある年長者が、若い者の歩む者を敎へるのは年長者の義務であります。若い者の行く手に見す〳〵危

除が横はつてゐるのを知りながら、見て見ぬ振りをしてゐるのは却つて、不人情です。

で、此れを具體的に云ふならば、矢張り、年長者の監督の下に若い未婚男女の交際を許すと云ふことになります。青年男女の監督者達が、先づ、あの人なら相當だと見込みを付けた人達をお互ひに招いたり招かれたりして交際をさせて見るのが今の場合最上なる方法でありませう。ですから、大體に於ての選擇は本人達の周圍の人がする、併し、最後の決定は本人に任すと云ふことになります。

「見合ひだなんて馬鹿々々しい。そんな舊式な方法で結婚なんかするのは嫌です。」と云ふ言葉は此の頃の娘からよく聞かされます。其の時にいつでも「本當に見合ひなどしなくてお婿さんを選む方法が外にあれば[illegible]ひですが、其の機會が與へられてない今日の場合ひでは外に方法がないですから、とにかく、一度逢つて見て、そして、見込みがありそうだつたら、それから幾度でも交際を續けて見たらいゝでせう。見合ひをして、直ぐ、イエスかノーかを極めずに、其のイエスかノーを三ヶ月でも半年でも、延して置いてはどうです。」と私は申します。

つまり、私が今考へ得る最上な方法は見合ひ結婚を改良したものです。他の言葉をもつて申しますなら、見合ひの期間を双方が滿足し安心する迄延ばすことであります。そして、双方の意志が、殊に、娘の意志が何かに壓迫されたり、或ひは强制されたり、又は、誘惑されたりしないやうに、矢張り、年長者の絶へざる監督が必要です。

適當な監督の下に異性との交際を許すことは娘の健全な發達のために有益だとされてゐます。そして、それは、決して寂寥をいやすためでも、又、病的な好奇心を滿足させるためでもなく、異性と云ふものをよりよく了解するためであります。異性と全然隔離されてあることは、異性に對する好奇心を强くし、却つて、誘惑に陷り易く、と云つて、余り親しくしすぎるならば亂れると云ふ恐れがありますから、其處に矢張り嚴重な境線がなければならないのです。

青春に總ゆる若い男女を無制限に接近させて置くこ

とは危險です。それは丁度、火を弄ばせて置くようなものです。當人達の氣付かない間に、其の火はお互ひの全身にひろがつて行つて、思はぬ時に爆發して、當人達の日頃の心がけも、又、彼等の未來も破壞されてしまうと云ふようなことになります。

戀愛は自分を最も必要とする人と、そして、其の人を自分も最も必要とする、と云ふように、兩者が相合した處に生れればならず。そして、兩者の生活の標準がほぼ同程度であり趣味もほぼ合つてゐる處に同情と信用が起ること、それから、又、これから結婚しようとする若い婦人は自分と同じ純潔な體をもつて婚禮の式場へ相手方が出て來ることを要求しなければならないことを教へられればなりません。

それでなくても若いうちは出來心に支配され易いものですから、周圍の者の注意の目を絕對に離すことは本人のために不利であります。無干渉主義は產業にも經濟にも贅議論であるように結婚にも矢張り贅議論であることを私は考へます。いづれにしろ、現代は若い婦人にとりて非常に危險の多い時であります。當婦人の理想、當婦人の生活の標準に據つてゐることは勿論だが、と云つて、其れに代る一定の理想も行爲の標準もないと云ふ狀態でありますから、從つて五里霧中に迷はなければならないと云ふことになります。

此の際、若い娘を持つ親、又は、教育者は娘の結婚に先きだつて、一定の理想を娘の心に造らせるのが最大急務です。確固とした理想が娘に出來るなら、どんなに若くても一時の感情に動かされるようなこともなく、利己的な結婚や、便宜上の結婚などは自分自身でも警戒するやうになりませう。そして、結婚のうちに深い意義を見出すようになれば、其の幸福は本人許りではありません。

宗教的な嚴肅な意義を結婚生活のうちに認めることによつて其の中から結婚生活の幸福は生れて來ます。けれども一時の孤獨を忘れるため、或ひは、經濟上の理由から結婚して、性格の適合も、理想の合致も、獻身の精神も、義務の觀念もないならば、其の結婚が非劇に終るのは余まりに當然なことでありませう。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

家庭奴隷より家庭の女王へ

「お前達は朝から晩迄うちに居て遊んで計り居るくせに。」と、妻に向つて夫が云ふのは今日迄の習慣でありました。そして、氣骨のある妻が夫のその言葉に憤慨して『うちに居ることが遊びであるかどうか、一日でいゝからあなたが代つて見て下さい。』と云つてプイと外出した後で、泣く子、悪いたづらをする子、喧嘩をする子の仕末、來客の應對等で夫はヘト〳〵に疲れて夕方、歸宅した妻に頭をさげながら謝罪したと云ふ笑ひ話があります。

夫が妻に代つて、たまにうちに居る一日は唯其の日だけのことをして居ればよいのです。前號に於ても一寸申しましたが、四六時中うちに居て家庭一切のことを切りもりする妻は目の先き計りの仕事をしてゐたのでは足りません。其の時々の汚れ物や繕ひものの外に、來たらんとする季節に必要な衣類の用意もしなければなりません。明日明後日の漬物の準備も必要です。子供の一寸した怪我の仕末、僅かの、けれども子供にとつては重大な子供の心の悩みを救治してやることなど實に、一日のうちの家庭婦人の仕事は數へようとしても數へ切れるものではありません。

ですから、生來頭の鈍いぐづな女には一家の切りもりは手ぎわよく仕終はすことは出來ません。明確な頭でキチン〳〵と仕末をして行けばこそ、家の中はいつも居心地がよくなつてゐますが、さうでなければ家の中はいつも豚小屋同然であります。

家庭婦人として無資格な、家庭内の仕事も子供の仕末もうまく出來ない女、そして、家庭外の勞働はどの位ひ苦痛なものだかと云ふことに無經驗な女のためには、女權主義者の『婦人も家庭を捨てゝ男子と同等に同じ勞働に從事せよ』と云ふ言葉は非常に都合のよいものに響きました。朝から晩迄、自分を縛つてゐる家庭の仕事と云ふ縄をたち切つて、自分の好きな仕事計

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

りなして自分の金として月々の給料を受け取つて自分の思ふように其の金を使用することは本當に愉快な生活であるような氣がします。

　金を所有して居る男、從つて、自分を制御する權利を持つて居る男に從屬してゐて、自分の好む身のまわりのものを買ふのに、其の男にねだつて金を貰ふよりも、自分の腕で働いて、雇主から自分の金として受け取つた金を使用する方がどんなにか愉快であらうと多くの女は考へるようになりました。で、女權主義者は『自分の生活費は自分で儲けよ！　家庭以外から自分の生活費を得るようになつた時に、婦人の解放は實現されたのだ。』と叫びました。勿論、多くの女達は其の言葉に從ひました。

　そして、女の實業家が出たり、女が株で儲けて金貸業でも始めるなら、それは、社會の金は全部男の所有に歸するものでないことの證據だとして、やんやと讃美します。けれども、一國の救主となるような大偉人を生み育てた婦人は、夫の金で生活してゐたと云ふ理由で、舊い型の奴隸的な女だとして排斥されてゐますが、其處に矛盾はないでせうか？

　もし、一家の妻が家事を取らないならば、家庭の仕事は勞銀を拂つて人に頼まなければなりません。すると、同じ仕事をするのでも他人には勞銀を拂ふと云ふ理由で其の仕事は奴隸的の仕事でなく、妻がすれば、勞銀をとらないから奴隸的な仕事だと云ふことになります。一家の利益を思ふのでなく、家族の人達に愛情があるのでなく、唯、金が欲しいために働く雇人が働けば、人間らしい立派な仕事で、主婦が心からの愛情をこめて一家のため、子供の將來のためを思つて働いたのでは奴隸的な仕事であると云ふのは如何にも變なものではないでせうか？　勞働と云ふ方面から見るならば、洗濯屋の洗濯場で洗ふのも家庭内の洗濯場で洗ふのも勿論同じことです。仕立屋で縫ふのも家庭で縫ふのも勿論同じことです。

　實に、『家庭を捨てよ、家庭の覊絆から脱することが婦人の解放である。』と宣言する女權主義は人類を不幸のどん底に突き落そうとする俗惡な個人主義、及、唯物主義の化身であります。新國民の健全な發育と、男

子の舊國に疲れた心身に更新の氣を與へるに必要な、家庭精神を其の個人主義的唯物主義的な女權主義は窒息せしむるものであります。人道主義的な燃ゆるような胸の鼓動、及び、無限に深い母の愛をも金に換算しなければ承知出來ないのです。ですから、金に換算出來ない、母の任務、妻の仕事を廢除しようとするのであります。さもなければ、家庭生活を道德上工場生活の水準に迄引き下げようとするものです。家庭内の仕事を、母として妻としての美しい精神をぬきにした被雇人の仕事にしてしまはうとするのです。

　消費者としての家庭婦人は、家族の健康のために、毎日臺所へ取り入れられる食料品の品質を吟味しなければなりません。正當な價格を承知してゐなければなりません。收入が充分でない場合ひなどには、最小限度の費用が最大限度の滋養分を家族のものに與へる工夫をしなければなりません。ですから、一家を不都合なく切りもりすることは、男子が大規模の商業產業に於て手腕を揮ふのと同じ手腕を要するのです。もし、又收入の多い家庭の主婦であつても一定の原料をもつて最善な結果を現す工夫が必要です。經濟に於ても實質に於ても。被服に付ても、先づ、普通の家庭の主婦は原料に對する智識計りでなく、無駄のないように工夫し、古いものも繕つて利用しようとする熟練と忍耐は、夫が外で稼ぐに付て必要な熟練と忍耐に匹敵するとも決して劣るものではありません。

　本誌昨年の八月號に於て『交換價値と使用價値』の題の下に云つて置いたことですが、一家庭の消費は主婦の手のうちにあるのであり、各家庭の主婦の手のうちにあるのでありますから、一國の消費は先づ家庭婦人の手のうちにあると云つて差し支へないものです。ですから、家庭婦人が自己の位置を自覺するならば、彼女達が產業界を支配するのは易々たる仕事であるのです。

　絹物が馬鹿に高い、絹物商が暴利を貪つてゐると云ふ事實があつたならば、各家庭の主婦が絹物を買ふことをピタリ止めるのです。さうすると絹物商は商賣をせずには居られないのですからいやでも應でも主婦達が滿足する程度に迄、價を下げずには居りません。『肉

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

が高い。』と云ふ聲が揚がつたなら、肉を買ふことを止めるのです。肉屋は困るから、價を下げずには居られません。
　けれども、共通の利益と云ふ點を見得ない我が國の多くの家庭婦人は、他人の家庭の狀態などを顧みようとはせず、自分には金があるのでどんなに高くても苦痛を感じない點から、どんなに高くなつても平氣で買ひます。否、むしろ、一般家庭が使用し得ないものを買ひ得ることを誇りとして居る傾きがあります。ですから、商人の暴利は一面から云ふと其等の共同生活に對する自覺のない金持ちが許して居るのであります。そして、收入のとぼしい一般家庭を苦しめているのです。
　婦人の自覺と云ふことは婦人の生活として常道である點の此の家庭婦人の位置を、人類的に國家的に社會的に個人的に悟ることです。婦人の解放とは、家庭の仕事が手に餘まつて苦しまぎれに家庭を捨てゝ、そして、婦人にとつては家庭の仕事よりも一層苦しい屋外勞働に賃銀と云ふ鎖に繋がれるのでなく、家庭内の仕事を易々と仕終はせる能力を造ると同時に、收支を償はせる手腕を養ひ、自分の家庭を根據として家庭に及ぼす政治界、産業界の變動には絶へず心を配つて、文字通りの家庭の女王となることであります。

編輯の後

まだ消へやらぬ雪の上へ、又々、牡丹雪や綿雪がしめやかにふりかゝつて地上の一切を柔い白毛布でつゝんでしまいます。其れは丁度、土の中で動き出そうとしてムヅ〳〵して居るあらゆる生命に向つて、「まだ目を醒ますのは早い。時期が來た時にすこやかに育たれるように今のうちによく眠つてお置きなさい。」と云つてゐるようです。
　倫敦に居る甥の手紙の一節に「冬の倫敦の空はストーブの煙にて常に靄を帶び、時には之に霧が混じて實に不愉快です。日短く、日中と雖も電燈により仕事する日が多いです。好天氣でも、太陽は、日本で擦硝子を通して見る程度に唯赤く丸く見へるだけです。冬はダンスが盛んだと云ひますが此の天候では陰氣でたまらないですから娯樂が盛んなのも無理はないと思ひます。日本の天候を思ふと早く歸へりたくなります。」と。倫敦生活の不健康さが見へるようです。其れに引きかへ東京の方は、殊に雪がふれば明るく華やかです。
　どんなに寒くても其れが生命を豐富に育くむ期節だと云ふ意識があるので何となく氣が引き立ちます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

冬の歌

原田琴子

僧院の裏の林にさざんかのつめたく咲けり初冬の朝

ふるさとは夢のごとくもはるかなりかぞいろ老いていかにをはさむ

かぞいろは老いてまさむとふと思ふ冬の靑ぞら仰ぎ見し朝

さかりすめばとほく心もへだたりぬ父母かなし冬の靑ぞら

庭の面に土いぢりする吾子をみつゝ縁に坐りてあみものをする

あたゝかく日射すひなたに吾子とあそびけふの一日はくれにけるかも

いつの間にきゝ覺えたる歌ならん聲はりあげてうたうたふ吾子

きゝわけてうなづく吾子のいとしさにいでたちかねつかへりみるかも

あそびよりかへらぬ吾子を思ひつゝ夕風さむき街に出でみる

おのづから心傷けりをとなしく母のかへりを待つとおもへば。

教育社會學講話（第十二回）

社會組織

同趣味の者の集團

社會組織の基礎となつてゐる第一次的の集團の一種を此處に擧げて見ます。今、此處に擧げようとする種類の集團は、あらゆる集團のうちで標本的なものとして度々選み出されるものですが、此の集團を他の集團と區別するために、便宜上其れに『同趣味の者の集團』と云ふ名を付けて置きます。こう云ふ種類の集團はお互ひに樂しむために交通してゐる人々から成り立つてゐます。ですから、お互ひに同情し合つて居る人々の集まりです。或ひは少なくとも嫌ひ合つて居ない人々でなければなりません。其の理由で、此の種類の集團は少數の人から成り立つてゐます。人數が多ければ多い

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

だけ、それだけ不和になる要素が多いと云ふことになりますから。一人殖へれば一人だけ不和の可能性を増すことになります。

なぜなら、新入者の一人は其處へ一ッの新しい反動を持ち來たすのみならず、其の集團の一人々々も又新らたな反動を起すことになりますから。つまり、二人の場合よりも三人の場合の方が、三人の場合よりも四人の場合の方が反感を起す機會が多いのです。否、實際は猶其れよりももつと複雜です。なぜなら、たつた二人の間の關係でも、單に、其處に第三者が居ると云ふことによつて、化學に於ける溶化と同じく、其の第三者の影響を受け、其の關係に變化があります。

又、會員の數が多ければ多いだけ、會員の各々は自己を現す機會が少ないと云ふことになります。なぜなら、全會員の注意は一度に一人にだけしか集まらないし、もし、又、多くの會員の會合の場合に一人が欠席するならば、其の一人は全會員から忘れられると云ふことになります。ですから、本當に親密な同趣味の者の集團と云ふのは、

五六人よりも多いことは滅多にないのです。それよりも人數が多いならば、其の集團の中に、又、小集團が出來て、全體としての集團の凝聚力が少なくなつて結局解散と云ふことになるかも知れません。

此の『同趣味の者の集團』は正式な形式によつて組織されるものでなく、自然に成立するものでありますから、其の會員の顏ぶれ、並びに數は常に變ります。たとへば此處にAとBと云ふ學生があつて二人は同室に住んでゐるとします。此の室へ度々遊びに來る學生にCとDがあります。又、時々、訪ねて來る學生にEとFがあります。そして、其の四人を其處へ引きつける人氣者はAであるとします。ですから、もしBがAと同居してゐるのでなかつたならばBは其の四人との交渉はなかつたかも知れません。又、BはCとは何等の共通點を持つて居ないけれども、Fとは、もし、二人限りで居るならば打ちとけ合ふことが出來るとします。其れ等のいろ〳〵の關係から其の六人が核となつて、そして、絶へず出たり入つたりする其の外の幾人かを持つて其

處に一ツの集團は成り立ちます。

成人した人達の聯合と云ふものは多くの場合、遠い處に目的を持つてゐます。ですから、彼等の中に『同趣味の者の集團』と云つたようなものを見るのは困難です。彼等は大抵間接な手段によつて、自身に關係ある人との聯絡を保つてゐます。これに反して、兒童は彼等の時間の多くを所謂『同趣味の者の集團』の中で費します。敎育家のためには兒童が自分自身のために自然に成立させる此の集團よりも、もつと、興味ある研究材料、否、職掌上研究して有益なものは外にないでせう。

次に擧げるものは、男の子の集團として好標本的なものであります。

（其の一例）　九歲から十三歲迄の五人の子供がいつも一所に居ます。其の五人は其のうちの一人の子供の家へ行つて、其の子が親から云ひつけられた其の子の仕事を手傳ひます。其の子の仕事が終ると、又、次の子供の家へ行つて同じように仕事をします。さうして、順々に仕事をかたづけて行つて、全部の子供の仕事が終つた時に、彼

等は心から樂しんで遊びます。けれども、其の集團を指導するものは一番の年長者と云ふわけではなく、一番善い事を考へ得る子供です。其の日々々々に遊びの方法を考へて定めるのもいつも其の子供です。

（其の二例）　野外運動のために六人の子供の集團が造られました。彼等は暇さへあれば一所に集まつてゐます。其のうちの一人が病氣になると他の五人が代り〳〵看護します。一度、其のうちの一人が高い處から落ちて腕を折つた時に、外の子供等は其の子の代りに新聞を賣つてやつて收入全部を其の子に與へ、暇さへあれば其の子を慰めるために其の子の部屋へ來て遊んでゐました。外の子供に餘計な仕事が出來た時には、勿論皆で手傳ひに行きます。子供のことですから、時には喧嘩をすることがあつても、併し、其れを何處迄もつゞのらせるようなことはありません。彼等は、又、非常に處を嫌つてゐて、彼等のうちの誰かゞ虛を云ふならばヒドク罰します。

（其の三例）　九歲から十二歲迄の子供の一群がいつも同じ處で遊んでゐます。彼等

の仲間以外の子供が來て一所に遊ばうとしても彼等は決して其れを許しません。自分達の遊びを指導して具れるような大きな子供が來ても矢張り彼等は其の子を仲間にすることをキッパリ斷りました。或る朝、いつもの通り彼等は集りました。けれども、彼等の仲間の一人が見へないので、其の見へない子供の家へ皆走つて行きました。すると、其の子供は母親から薪を積む仕事を云ひつけられて居ましたので、皆で、其の仕事を手傳つて、そして、一緒に出て來て遊びました。或る時は一人の子供が誤まつて近所の家の窓を破したので、仲間のうちの凡ての子供が金を出し合つて、そして、辨償しました。

團體精神、則ち、集團を造らうとする希望は普通の男の子の場合ひには十三四歳位ひの時が最も盛んです。其れに付て、リー博士は彼の『教育に於ける遊戯に』於て、次のように云つてゐます。

『此の頃の男の子は以前よりも、より強く仲間を造る必要を感じるようになつた。其れが彼の社會であり世界であつて、そして、それは、幼兒に母が必要であると同じように彼には必要となつた。そして、或る集團の一人であると云ふことが、彼の生活彼の爲すものゝ凡てを貫いてゐる。話をするにも、散歩するにも、野外運動をするにも、彼は彼一個人としてゞはなく、其の集團の一人としてゞある。集團の一人であると云ふことが彼の最高の誇りであつて、彼は其の集團と共に成功もするし、失敗もするし、又、必要ならば苦しみもする。彼の一切の行爲のうちには、彼が其の集團に屬してゐると云ふことが現れてゐるのである。』と。

普通、女の子は男の子よりも靜かで、遠慮勝ちです。ですから、女の子同志の意氣相投じた集團と云ふのは男の子の場合のように目立ちませんけれども、併し、實際には存在してゐるものですし、又、敎育上にも男の子の場合と同じように重要です。勿論

男の子の場合よりも、數も少ないし、又、正式なものになるのが遲いと云ふのも自然でせう。例を擧げて見るなら、

（其の一例）或る大商店の女子店員の幾人かゞ、休息時間になると、必ず、或る片隅にかたまつて大きな聲で讀書してゐます。彼女等の監督人に或る時、『皆さんは、なせ、讀書倶樂部を造らないのですか？』と云はれて、急に、思ひ立つて讀書倶樂部が組織され、そして、其の倶樂部は益々盛んになりました。

（其の二例）此の例は一人の娘の直話です。『私達の仲間は四人です。皆、同年です小學校の七年生の時に私達は一致していつも仲間であることを約束したのです。學校に居つてもいつも四人が一つになつてゐて外の生徒とは關係しませんでした。先生が私達を外の生徒と交はらせようと試みました。けれど駄目でした。私達のうちの二人はピアノを。一人は聲樂を、一人はヴイオリンを習つてゐました。ですから、學校がお休みの時はいつも四人で練習してゐました。私達の一つの規則は、何處かへ一緒に

行く時には必ず時間を正確に守ること、嘘を云はないことでした。小學校を卒業してからは師範校へ行く者、女學校へ行く者とバラ〳〵になりましたので、止むを得ず其の集團は解散しました。』

（其の三例）少女の寄宿舍に四人の集團が出來ました。食堂に集まつて、食事が運ばれて來るのを待つ間に彼女達は自然に親密になつたのでした。お互ひが文學に趣味を持つてゐることをお互ひに發見したからでした。始めのうちは、單に、暇のある時集まつて讀んだり話し合つたりしてゐました。けれども、後には、一週間のうちに必ず一度づゝは集まることに定めました。其の四人のうちの一人が、或る樂しい會などへ招待されても、他の三人も出席出來るのでなければ斷然自分も出席を拒むと云ふように其の仲間に對しては忠實でありました。又、其のうちの最も頭腦の勝れた娘は、自分の優秀な勢力を自分のためにのみ用ひずに、いつも、仲間の全體、つまり、四人のために用ひてゐました。

次に擧げるものは教師として女生徒を觀察した女教員の話です。

（其の一）或る少女達は共に遊んだり、裁縫したりするために、又は、時とすると唯仲間が欲しいために小さい集團を造ります。けれども、習慣として女の子には噂話が多いので、男の子の集團よりも破れ易いものです。男の子の集團はお互ひに對する忠實心が強く、ことを爲すにも、容易に一單位となることが出來るが、女の子は自分の思ふ通りにことを爲さうとするので、常に衝突が絶へません。

（其の二）私の受持ちの五年級に五人の少女の集團がありました。其の目的は人形の着物を縫ふのでありました。代り／＼に一人の娘の家へ集まるのでした。彼女達の話題の重なる者は學校の先生達の批評でありました。其の五人はいろ／＼なことを相談し、定めるのでありましたが、其のうちの一つは、C先生を怒らせようと云ふことでした。其の方法は其の先生の講義の時間に皆してゴム菓子をクチャ／＼噛んでゐてそして、何かいたづら書をして居ようと云ふことでした。

（其の三）　女の子のうちには些細のことから常に軋轢があります。教室の座を取り替へて貰ひたいと云ふような要求がよくあります。理由を聞くと並んで居る子と仲が悪いからと云ふようなことです。けれども、其の仲が悪いと云ふ子供との間を仲裁して其のまゝにして置くといつの間にか善い仲になつてゐることがあります。男の子同志の間にはさう云ふことは無いようです。男の子達は、そんなことは先生の處へなど持つて來ないで自分で仕末をつけてしまうようです。

併し、女の子の集團には必ず男の子の集團のやうな調和と繼續性が無いと定まつてゐるわけではありません。或る三人の少女は始終一所に遊んだり、裁縫したり、讀書したりしてゐました。二人の娘が裁縫してゐると一人の娘が一生懸命讀書して二人に聞かせて居たりしました。小學校を卒業して別々な學校へ行くようになつても、三人は夕方には必ず集まつてお互ひの經驗を話し合つてゐました。其の時から十二年が經過

して遠い處に別れ住んでゐても、彼女達は矢張り手紙をやりとりしたり、訪問し合つたりして昔ながらの友情を續けてゐます。さう云ふ例は、擧げて行けばまだいくつもあります。

幼稚園時代を除くなら、男女混合しての集團と云ふのは稀多にありません。もし、あれば、女の子の方が男性的になつたり、男の子の方が女性化したりします。でなければ、其の集團は第一次的と云ふよりは、むしろ、作用的となります。

社會の基礎、其の單位が家庭であると云ふことは私が常に述べてゐることでありますが、其の外に、社會組織の種子となるものは、だん〳〵お話して參りました。前述の第一次的の集團、則ち、『同趣味の者の集團』であります。

回山田嘉吉著

定價二圓五拾錢（送料十五錢）

新刊

現代社會學

目次

◎社會學の必要◎社會とは何ぞや◎社會學の概念◎現代の社會學說◎慈善學としての社會學◎人類學としての社會學◎生物學としての社會學◎經濟學としての社會學◎歷史哲學としての社會學◎特別社會科學としての社會學◎社會的事實の記述としての社會學◎團體研究としての社會學◎分業としての社會學◎模倣としての社會學◎無意識な社會的抑制としての社會學◎人類爭鬪としての社會學◎社會主義としての社會學◎基督敎社會主義◎純正社會學◎應用社會學

發行所 專修大學

東京市四谷區南伊賀町四一

取次所 婦人と新社會社

振替東京五三六八八番

本誌定價表

一冊	金二十五錢	送料五厘
六冊	前金 金壹圓四十錢	（送料共）
十二冊	前金 金貳圓七十錢	（送料共）

■誌代及郵稅は前金の事■御送金の際は振替貯金東京五三六八八番に御拂込みのこと■郵券代用は五厘切手にて一割増■廣告は御照會次第御相談いたします

大正十一年一月二十三日印刷納本
大正十一年二月一日發行

東京四谷區南伊賀町四一
編輯兼發行人 山田嘉吉

東京神田區仲猿樂町十七
印刷人 大杉直次郎

東京四谷區南伊賀町四一
發行所 婦人と新社會社
振替東京五三六八八

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



三越の二月（二月の定休日は十日・廿五日）

雛人形陳列會（二日より）
栗原氏水彩畫陳列會（七日より）
全國水産陳列會（同）
帶側陳列會（十一日より）
日本版畫創作協會展覽會（十三日より）
春向友禪陳列（廿日より）
ワツチモンド氏パステル畫展覽會（廿一日より）
印度趣味會主催印度工藝展覽會（同）
新光洋畫會展覽會（廿二日より）

東京

越

三越呉服店

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN